

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

新年の夜空に色鮮やかな 大輪を咲かせ(桃生)

1月1日(日)午前0時、桃生町牛田地区雷神社で初詣花火大会が行われ、色鮮やかな大花火が新年の夜空を彩りました。

これは、桃生町牛田地区の方々に組織した初詣花火大会実行委員会(委員長・千葉榮俊さん)が、地区の方々の協力を得て打ち上げたものです。約30分間にわたり、夜空に大輪が咲き乱れました。



冬至カボチャで 厳しい寒さを吹き飛ばそう(北上)

12月22日(木)、北上地区吉浜老人クラブ婦人部による「冬至・カボチャがゆ試食会」が北上地区吉浜公民館で行われました。

試食会は、お年寄りの長寿を願い婦人部が20年前から開催しています。当日は、婦人部が各自持ち寄ったカボチャや小豆を加え調理したカボチャがゆを、吉浜地区の老人クラブの会員や、高齢者生活福祉センターはまぎくの利用者に振る舞いました。



熱戦！桃生初の フットサル大会(桃生)

桃生地区で初めてのフットサルの大会となる「第1回フットサル交流大会」が12月11日(日)、桃生総合センターで行われました。

これは、桃生サッカースポーツ少年団が主催したものです。学年別で競技が行われ、2ブロックに分かれてのリーグ戦の後、各ブロック上位2チームによるトーナメント戦が行われました。

優勝目指し、必死にボールを追いかける子どもたちの様子に、応援団もヒートアップ。ナイスプレーいっぱいのおもしろい試合を繰り広げていました。



小さな七福神が福を呼ぶ!(牡鹿)

1月5日(木)、牡鹿地区の寄磯浜で正月の伝統行事「子ども大黒舞」が行われ、地元の男子小・中学生12人が、七福神にふんした色鮮やかな衣装や着物を身にまとい、太鼓に合わせて元気に舞を披露しました。

会場の一つとなった寄磯センターには多くの住民が詰め掛け、今年一年の大漁や家内安全、無病息災を祈願していました。

まちの



このコーナーでは、

一年の無事を祈る(石巻)

1月7日(土)夜、石巻市内では、各地でどんと祭が行われました。どんと祭は、本来は小正月(1月中旬)の行事で、門松やしめ飾りなどによって出迎えた歳の神を、それらを焼くことによって炎と共に見送る意味があるとされています。この炎にあたることにより、病気をせず健康で暮らせるといわれています。

住吉町の大島神社には、雪もちらつくなが、多くの家族連れなどが正月飾りなどを炎に投げ入れ、一年の無病息災、家内安全などを祈っていました。



大般若経巡行で無病息災祈願(河北)

1月3日(火)、釜谷地区で約300年前の江戸時代から伝わる「大般若経巡行」が行なわれました。

巡行を行なったのは、同地区の20歳から55歳の跡取りで組織する釜谷神風講(只野順一講長)の会員とOBなど55人です。一行は、観音寺に納められている600巻の経文を6つの経びつに納め、二人一組でそれを担ぐと、太鼓と笛に乗った獅子舞を先頭に約100世帯を3時間かけてゆっくりと練り歩き、地域の無病息災、家内安全などを祈願しました。



獅子が舞い、 無病息災家内安全(雄勝)

新春の行事として、雄勝の各地域では今年も「春祈禱獅子舞」が行われました。1月3日(火)に行われた春祈禱では、新山神社に5つの地区の獅子が集まり、ご祈禱の後、境内で活気あふれる舞を披露しています。

境内で舞いを披露したあと、獅子は色鮮やかな山車から鳴り響く笛や太鼓の音色とともに各地区の家々を訪れ、無病息災、家内安全を願いました。

迫力ある獅子の舞いに、各地区ではたくさんの歓声が響きわたり、大変にぎやかな一日となりました。



おらほのひかりのべえじえんと(河南)

およそ2万個の豆電球を使った巨大ツリーで冬の夜空を彩る「おらほのひかりのべえじえんと」(実行委員会主催)が12月23日(金)、北村小学校校庭で行われました。

第16回を迎えたこの催しは、河南の冬の風物詩として知られています。会場には、全校児童が思い思いの願いを込めて作ったあんどんも飾られ、幻想的な光の世界が映し出される中、合唱や花火を打ち上げ、クリスマスの雰囲気を感じていました。